文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	主査	担当	担当							文書取扱主任		

第 5 回 議会改革特別委員会 会議録

開催年月日	平成 24 年 4 月 19 日 (木曜日)	開会 11 時 23 分	閉会 11 時 58 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	荒木、清水、渡邊、堀、山口、柴田	事務局	中嶋事務局長
	議長		菊井次長
	委員外～小野		村井主任主事
欠席委員	関藤、窪之内		
説明員		議 件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	次の事項について委員長及び事務局から説明を受け、質疑を行い、すべて確認済みとした。		
	1. 議会だよりについて		
	2. 継続課題等の検討項目について		
	(1) 議会基本条例		
	(2) 議長公選制の導入		
	(3) 議会開催日の周知		
	(4) 委員会資料のデータベース化		
	(5) 本会議のインターネット中継		
	3. その他について		
	なし。		
	4. 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 議会改革特別委員長 荒木文一 ㊦			

第5回 議会改革特別委員会

H24. 4. 19 (木) 本会議終了後
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶 (委員動静)

1. 議会だよりについて
2. 継続課題等の検討項目について
 - (1) 議会基本条例
 - (2) 議長公選制の導入
 - (3) 議会開催日の周知
 - (4) 委員会資料のデータベース化
 - (5) 本会議のインターネット中継
3. その他について
4. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

開 会 11:23

委員動静報告

委員 長 欠席～関藤、窪之内。議長出席。委員外議員～小野。

1. 議会だよりについて

委員 長

「たきかわ市議会だより」の第1号が完成をし、この会議で最終確認をしようと考えていたが、スケジュール的に難しいということで、この件についてはおわびする。印刷がされ、折り込み配付を待つという段階である。ここまでまとめたが、いろいろな不備があったと思うが次号以降に生かしていきたいと思う。きょうの委員会はいろいろな案件があるが、これについて各委員に投げかけをして、各会派で検討してもらいたいと考えている。資料に発行までの経過と諸課題ということで掲載した。編集委員会を数回開催し、2号目以降については、いろんな経験をしたので生かしていけると思う。編集にかかわる主なスケジュールということで、印刷については発行月の前月の3週目の18日前後がリミットということがわかった。その前に議長、副議長の最終決裁があるので、最終の校正を考えるとその5日から7日前が最終校正ということになる。その前に随時、校正があるので、次号以降の各議員からの一般質問の提出は議会最終日から1週間以内がリミットになると思われる。その前に編集委員会で構想を練って、議会日誌や委員会報告は一般質問の前に提出してもらおうことになると思う。また、各議員からの提出物にかかわるルールだが、委員会報告は3常任委員長、特別委員長に編集委員会から定例会前までに掲載企画が伝えられるので、定例会の最終日までには提出してもらいたい。一般質問については質問要旨及び答弁要旨を各議員が作成するという事になった。本会議の最終日を含めて、1週間以内に提出をしていただく。基本的にはデータで提出してもらおうことになる。字数制限だが、最初に表題だが、おおむね30字以内、2行になる。質問要旨が70字以内。答弁要旨が120字以内とさせていただいた。これでいくと大体3つの質問が掲載可能となる。字体、フォントはMS明朝の10.5ポイントで作成することが望ましい。それが提出されれば、答弁を所管に確認してもらおうと考えている。編集委員会でチェックを行った上、記載内容についての責任は当然各議員が負う。要旨なので表現の仕方で所管からクレームがつく可能性がある。それを受け入れるかどうかもあるが、余りにも答弁と異なる内容の場合は、最終の調整権限者は決裁者である議長、副議長ということにしたい。ここまでの説明で何か質疑はあるか。

山 口

議員が答弁要旨を作成するという事か伺う。また、そういうことであれば、音声聞いてつくるといふことか伺う。

委員 長

なぜ答弁要旨を議員がつくるのかということだが、質問要旨あるいは答弁要旨に関してルールが決まっていなままスタートしたことから、所管、議会事務局、編集委員会において相当な論議があった。調整もしてきたが、最終的には所管からの回答として、この議会だよりについては、市議会がみずから出すという趣旨にのっとって、議会側ですべて対応してほしいという回答だった。幾

つかの選択肢の中で、所管にも協力をお願いしたが、最終回答として議会側で対応してもらいたいということだったので、そこは選択の余地はないということになる。音声を聞く方法があるが、1週間以内の期限を区切っているので、大まかな会議録のデータが届くまでには間に合わない。音声と質問者のメモに頼るのが実情である。一たんそれを提出してもらい、最終的には会議録を見たり、所管に確認するということになる。基本的には議員本人のメモということになると思う。

山 口 ① 本人が作成するということが、編集委員が作成するという選択肢はなかったのか伺う。

② 答弁に関しては間違っただけを書いたら困るので、ブログでは後ではっきりしたものが出てから書くようにしている。確認する作業は最終校正で間に合うのか伺う。

委員 長 ①② 編集委員がすべてを作成するという選択肢は考えていなかった。本人に一たん要旨をつくってもらい、1週間後に大まかな会議録が来るので、それで変更は可能である。それを編集委員にすべて任せるのは作業的にも酷だと思うので理解願いたい。

山 口 最終校正も本人が会議録を見て確認できるということか伺う。

委員 長 最終校正はだれが行うのかということは明記していない。記載内容の責任は最終的には各議員が負うことになる。最終校正に至るまでに本人と編集委員あるいは事務局とのやりとりが必要になると思う。ここで事務局長から補足がある。中嶋事務局長 所管の確認については当初議員という話もあったが、相手方もやりづらいということもあって、事務局のほうである程度所管に確認してもらおうという流れになると思う。

委員 長 総務部長とやりとりをして最終的に決めたが、相当な懸念事項を伝えている。要旨ということで言葉すべてが出るわけではないので、微妙なニュアンスについてもまとめることを各議員に任されたということは、幾ら所管が最終的にこのようにしてほしいと言っても議員側がダメだと言えば難しいということも伝えてある。これは全戸に配られるものなので、それを議員にまで答弁要旨を作成させるということはちょっといかなものかということまで伝えてある。要するに所管としては、そういう危険性を踏まえた上で、各議員にお願いすることなので、これは相当所管としてもなかなか簡単に議員にこうしてほしいとは言いにくいだろうと思われる。そのこともきちんとやりとりした上でその危険性も所管はのむということだった。

山 口 間違っただけが載っていた場合は、所管としては関知していないので、議員が間違っただけを書いたという説明になるということか伺う。

委員 長 恐らくそのようになると思う。幾ら我々の責任で出すと言っても、所管に一度確認してもらおう作業が必要だと思う。その確認作業は拒否していないので、確認作業を受けて、何も回答がない、つまりここを直してほしいということに反応がない場合、これは所管の責任になると思う。そういうやりとりを踏まえた上で作成していくということである。他に質疑はあるか。

渡 邊 答弁要旨について、所管とのやりとりはよいのか。所管の作成した答弁書の中身を確認してよいのか伺う。

委員 長 それについては整理がついていない。全く接触できないというのはナンセンスである。あくまでも間違いのないものを載せたいので、こういう表現だったか

を確認できないことはないと思う。次回までに総務部長に確認したいと思う。他に質疑はあるか。

清水 今回の場合で言えば、3月23日に始まって、最終は4月18日前後に印刷をするということで5月号に折り込まれるということか。6月議会は8月号に折り込まれるという理解でよいか伺う。

委員長 そのとおりである。先ほど言い忘れたが、一般質問は3つまで想定しているので、質問、再質問、再々質問を載せることも可能である。1つの質問のみであれば、3倍の量を載せることができる。写真を載せる場合は紙面の関係上、自分の構成員も必要となる。各会派の方は自分の会派の議員に協力してあげてほしいと思う。また、渡辺精郎議員に関しては清水議員が協力してあげてほしい。IT的なものに精通していない方は皆さんで手助けしてあげてほしいと思う。他に質疑はあるか。(なし) 1については確認済みとする。

2. 継続課題等の検討項目について

委員長 新しい議員はわからないと思うが、前期に議会改革検討会議があり、水口前副議長を座長にいろんな検討課題を整理、議論してきた。(1)から(5)までは継続案件となっていたものをそれぞれ掲載している。端的に説明する。

(1) 議会基本条例

委員長 基本的には制定の必要まであるのかということが実情である。帯広市議会に視察に行ったが、結論には至っていない。ほかの名寄市議会などを視察した中で結論をどこかで出すということも必要だと思う。

(2) 議長公選制の導入

委員長 議長公選制の導入については、「現状でよい」や「直ちに導入する」など各会派で意見が分かれた。選挙間近では落ち着いて議論ができないということがわかった。改選後に新たに協議するという事になっている。

(3) 議会開催日の周知

委員長 議会開催日の周知については、基本的には実施すべきということになっているが、どういう方法で行うべきか、開催日だけではなく、一般質問の日程、各議員の日程等についても掲載するのはどうか整理がついていないので、各会派の意見を次回以降伺いたい。

(4) 委員会資料のデータベース化

委員長 これまで清水委員から必要性の主張があったが、どこまでできるかということ調査する必要がある。これについてはもう少し調査をさせてもらい再度提案していきたいと考えている。

(5) 本会議のインターネット中継

委員長 前期の会議体の中では導入費用が約1,400万円、年間の経常経費が約53万円としていたが、今回新たにもっと安くできる方法はないかということで検討している。事務局から説明させる。

村井主任主事 USTREAM議会配信構成という資料を添付している。その中で配信用機材があるが、現在議場で使用しているアナログの映像を活用して配信用のノートパソコン、切りかえ用の装置をつけ、配信ソフトをパソコンに入れ、100万円程度でインターネットを通じてライブ中継できるという提案が業者からあった。正確な見積もりは今月中にもらうことになっている。また、配信容量の関係で光回線を新たに1つつける必要があるようだが、このことについても今後業者と話をしていくことになる。

- 委員長 補足だが、このインターネット中継については、初期予算で100万円ということであり、年間の経常費用は回線の契約料などがある。また、保守をどうするかという課題もある。その辺の金額をきちんと整理した上で次回にはもう少し詳しいものが出せると思う。インターネット中継を行った場合にどういうメリットがあるかということについては、各家庭でインターネット環境があれば見ることができる。本会議の際に各所管の方が質問の対応を含めて待機している。現状で言えば、庁内のテレビでしか見ることができないので、何もなくてもスタンバイしている状態である。これが自席において確認できるというメリットがある。行政作業上も効率化できる。本会議は年間に二十数日しかないので、残りの日をどのように活用するかという点で、私の考えとして、観光の広告的なものを流したり、市の広報的なものに活用することも可能だと思う。そういうことも踏まえた上で、これについて進めてよいか検討いただきたい。以上
- (1) から (5) まで説明したが、次回以降各会派から意見をいただくということにしたいと思う。何か質疑はあるか。
- 山 口 ① ビデオカメラは買わないで今あるものを使うということだと思うが、カメラは定点で撮影されたものを配信するというものなのか伺う。
- ② 大概どこの議会でも録画したものを配信している。そういうものも含んだ金額なのか伺う。
- ③ 行政作業上メリットがあるということだが、そういうことであれば、議会費ではなく他の費用でも可能なのか伺う。
- 委員長 ① 定点ではなく、現在も固定カメラを切りかえて撮影している。例えば、質問者が話すときは、質問者を映し、答弁者になれば答弁者を映し、議長が進行しているときは議長を映している。
- 村井主任主事 ② 過去の本会議の映像を含めて掲載することは可能であるが、金額的に新たにお問い合わせすることになるので、100万円とは別になる。その辺の見積もりについてももらうことになっている。
- 委員長 ③ 私が考えたメリットなので、他の予算ということではなく、議会費での対応になると思う。これについては調整させてもらう。
- 山 口 ① 年間何日間しか使わないということなので、それで別のものも使うということになれば、その使う分は議会費以外でも見ることができると思う。議会費で対応すれば、議会だけでしか使えないということもあり得る。その辺についても考えたほうがよいと思う。
- ② 動画の張りつけは自分で行っても難しくはない。サーバーがあればできるものだと思うので、金額的には大したことはないと思うので、業者との折衝は強気をお願いしたい。
- 委員長 ① 指摘を理解したので、今後研究させていただく。
- ② 業者との折衝をしっかりとお願いしたい。
- 他に質疑はあるか。
- 清 水 ① 対象を常任委員会、特別委員会に広げることはどうか。
- ② 中継するか録画をアップするかということだが、今は圧倒的にYouTubeのほうが検索しやすいが、それは5分とか10分程度で、買い取れば2時間程度の枠でできるようだが、YouTubeとUSTREAMではどちらがよいか比較してほしいと思うがいかがか。
- 委員長 ①② 今後いろいろなことを想定して考えていきたい。本会議のインターネッ

ト中継について提案してきたのは清水委員である。今後よりよいものとするために研究していきたい。他に質疑はあるか。(なし) 2については確認済みとする。

3. その他について

委員長

委員から何かあるか。(なし) 事務局から何かあるか。(なし)

4. 次回委員会の日程について

委員長

次回委員会は次回定例会の前を想定している。詳細な日程は正副委員長に一任いただくことでよいか。(よし) 以上で第5回議会改革特別委員会を閉会する。

閉 会 11:58